

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

アート（制作活動）

<テーマの設定理由>（テーマに関する 子どもの興味関心、園の特色 など）

季節の制作や感触遊びなど日頃から様々な素材、画材に触れて表現する機会が多くあり、水の混ざりあう様子、作っていく中で形が変化する様子に興味をもち創作意欲が高まっていると感じた。今まで触れたことのない様々な素材や環境に触れることで表現する楽しさをさらに感じてほしい

2. 探究活動の実践

		対象クラス・対象人数							
	実施日	0歳児 クラス (人)	1歳児 クラス (人)	2歳児 クラス (人)	3歳児 クラス (人)	4歳児 クラス (人)	5歳児 クラス (人)	地域 子ども (人)	地域 大人 (人)
①	2026/1/28				21	21	20		
②									
③									
④									
⑤									

活動内容
3歳児『ニョキニョキオブジェ』 使用画材 粘土 型押し素材 凸凹スポンジ 環境設定 1つのテーブルに4～5人ずつ 子どもの活動 粘土で遊ぶ⇒粘土を芯材に張り付け指で押したりつまんだりして形を作る⇒型押し素材で模様を入れる⇒凸凹のところにスポンジで白を付ける 子どもの姿 手で触った感触を「固い」「お餅みたい」など言葉で伝える 段階に分けて、つぶす、転がす、こねる、たたくなど手が止まることなく熱中していた。・初めての立体作品で形がどんどん変わっていくことを楽しみながら自分のイメージする物を形作ろうとしていた。 4, 5歳児『玉ねぎを作ろう』 使用画材 石粉粘土 芯材 典具帖和紙 でんぷん糊 筆 環境設定 1つのテーブルに4～5人ずつ 玉ねぎは2人に1個 子どもの活動 玉ねぎを五感で感じながら観察する⇒粘土を触る⇒芯材を包むように粘土をつけて形作る⇒和紙を糊で貼り色づける 子どもの姿 玉ねぎの皮をむいたりにおいを嗅いだり、皮を光に当ててみたりとよく観察していた。・紙粘土は説明を聞きながら薄く延ばして貼り付ける子どももいれば塊のままつけてから整形している子どももいた。・和紙の素材の特徴をつかんで混色して使うなど、工夫したり考えながら夢中で手を動かしていた。 出来上がった作品を見せ合って思いを伝え合っていた。

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した 素材や道具)
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。
(活動の内容、活動中見られた 子どもの姿、教諭 との関わり 等)

活動におけるチェックリスト	
グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促す。	○
活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録する。	○
乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行う。	○
記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返る。	○
幼稚園・保育所等の各施設の教諭数値・保育者所同士や保護者等に、探究活動の内容を共有する。	○
次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考える。	○

活動の様子が分かる写真 2 枚 以上 を貼付 してください。

(HP などで 公開する可能性がありますので、公開可能な ものを使用ください。)



3. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

- ・今までは配られた素材は使い切ることが多く、ダイナミックに表現する子どもが多かったが、今回は自分のイメージする形になったら粘土を使い切らずにストップする子どももいた。
- ・粘土をこねる時にどうしたら柔らかくなるか考えながら叩いたり体重を乗せて押したりと工夫する姿があった。
- ・自信をもって自分の感じたことを言葉で表現する子どもが増えてきた。
- ・道具の使い方にもそれぞれの工夫があり、同じ工程で同じ材料で作っていてもみんな違う作品になり、個性を認め合う姿が見られた。

4. 今月の購入実績

[illegible]

記入日： 1月30日

記入者： 池谷純子